気象庁
Japan Meteorological Agency

報　道　発　表

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和８年８月25日
大　気　海　洋　部

異常気象分析検討会の開催について

今夏は、西日本を中心に顕著な高温の時期が現れ、また台風第15号が過去あまり例のない経路をとり、その後令和８年８月千葉豪雨が発生しました。これらの特徴について議論するとともに、もたらした要因について分析検討するため、令和８年９月１日（火）に、異常気象分析検討会を開催します。

気象庁は、社会経済に大きな影響を与える異常気象について、大学や研究機関等の専門家の協力を得て異常気象の発生要因などに関する見解を迅速に公表するため、異常気象分析検討会を運営しています。

令和８年９月１日（火）に標記検討会を開催し、西日本を中心とした顕著な高温と少雨および過去あまり例のない経路となった台風第15号や令和８年８月千葉豪雨の特徴について、大規模な大気の流れの観点から検討するとともに、台風第15号と令和８年８月千葉豪雨については個別の事例についての分析を行います。

１　開催日時

日　時：令和８年９月１日（火）13時00分～16時00分

場　所：気象庁７階会議室１　及び　オンライン開催

２　主な議事の内容

・西日本を中心とした令和８年７月中旬～８月初めの顕著な高温と梅雨明け以降の顕著な少雨について

・過去あまり例のない経路となった台風第15号と令和８年８月千葉豪雨について

３　会議の公開について

・本検討会は非公開です。

・写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。冒頭撮影を希望される報道機関は、８月31日（月）12時までに、下記問合せ先までお申し込みの上、会議開始の20分前までに、社名入りの腕章または身分証明書を着用し記者会見室（気象庁２階）にお越しください。

・後日、速やかに資料と議事概要を気象庁ホームページで公開します。

問合せ先：（検討会に関すること）大気海洋部気候情報課異常気象情報センター　経田、藤川
電話　03-6758-3900（内線4546、4547）
（カメラ撮影に関すること）総務部総務課広報室　森川
電話　03-6758-3900（内線2184）

【別紙】

異常気象分析検討会　委員名簿

会長

中村　尚（なかむら　ひさし）　東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー

会長代理

渡部 雅浩（わたなべ　まさひろ）　東京大学大気海洋研究所 教授

委員（50 音順）

今田 由紀子（いまだ　ゆきこ）　東京大学大気海洋研究所 准教授

植田 宏昭（うえだ　ひろあき）　筑波大学生命環境系 教授

榎本 剛（えのもと　たけし）　京都大学防災研究所 教授

竹見 哲也（たけみ　てつや）　京都大学防災研究所 教授

谷本 陽一（たにもと　よういち）　北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授

坪木 和久（つぼき　かずひさ）　名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授

野中 正見（のなか　まさみ）　海洋研究開発機構アプリケーションラボ 上席研究員

原田 やよい（はらだ）　気象研究所気候・環境研究部第一研究室長

堀之内 武（ほりのうち　たけし）　北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授

向川 均（むこうがわ　ひとし）　京都大学 名誉教授